

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
 ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
 ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
 ★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。



News Letter

2023年3月1回号 発行:常総生協広報G



2022-23年度活動テーマ(案)「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

「JOSOわいど」がカタログ本紙と一緒にになります。 引き続きご利用をお願いします！

国産の有精卵と圧搾一番しぼりべに花油、菜種油、醸造酢、ビート糖、塩、香辛料使用。



創健社(神奈川県・横浜市)

532 有精卵マヨネーズ

賞180日 卵米

300g **460**円(税込**497**円)

なたね(オーストラリア)

国産の有精卵と圧搾一番しぼりべに花油、菜種油、醸造酢、ビート糖、塩、香辛料使用。



532 有精卵マヨネーズ

卵米

創健社(神奈川県・横浜市)

賞180日

300g **460**円(税込**497**円)

なたね(オーストラリア)

～カタログ本紙への統合について～

現在は「JOSOわいど」という別媒体ながら、カタログ本紙の掲載基準である商品も多数掲載されており、また印刷代も値上げの傾向です。

(例)ニッコー(冷凍総菜)の商品が、「JOSOわいど」と「カタログ本紙」の両方に掲載されている。

そこで、より分かりやすい紙面とコストを抑える為に、**3月1回よりカタログ本紙を7段→8段にしカタログ本紙にJOSOわいどの商品やコンセプトを取り入れることにしました。**

今後も見やすい紙面作りに努めますので、引き続きご利用をお願いします。

●アイコンが変わりました。

- ・(旧)ふるさと便 →
- ・(旧)「前日OK商品」 →
- ・JOSOわいど対象商品について → 、原材料または注意する添加物を明記します。

2023年2月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○提携・協同・連帯企画●

○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク
毎週木曜日に外遊び活動をしています。

○各地区で「みそ作り講習会」を開催します。(別途お知らせ)

・2/25(土)みそ作り講習会@我孫子地区、歴史講座

●その他、紙面の変更点

・2ページ目には、レシピの紹介、素材を合わせた簡単な一品料理の作り方などを掲載しています。今後は組合員から募集したレシピなども掲載予定ですので、ぜひ我が家の“暮らしの知恵”をお寄せください！また2ページに「今週のおすすめ商品」を固定で掲載しますので、こちらもぜひチェックしてください。

・カタログ紙面の後半に900番台があります。こちらは500番～と同じように**注文用紙の3ケタ欄**に記入してください。

トースターで表面がカリッと、開放鶏舎で育った若鶏の
する位に焼くと美味

900番台は500番～と同じように注文用紙の3ケタ欄に記入してください。

920
秋川牧場(山口県・山口市)
徳用 チキンナゲット
400g **755円(税込815円)** 通常税込867円

鶏肉(山口県、他)

CO-OP MAR JOSO 2023年3月1日発行

今日はこれで決まり!

ミネラルもタンパク質もたっぷり摂れるわがめと豆腐のサラダ

アスパラとあさりの酒蒸し

モチモチ生地にぎゅっとした甘さのあん

ブラッドオレンジ

前菜やおつまみにもおすすめ
しいたけの香りも楽しんで

手軽に手作り! しっとり美味しい
鶏ハム

しいたけのファルシ

※3月2回はカタログから**500**～**999**は背景青・白文字になります。

組合員・生産者・職員の広場 ※商品名・注文番号は3月1回

○生から作ったきびなごフライ

カラッと上げて松永さんのレモンを絞って塩やお醤油を少しつけて食べると本当に美味しくて夏場はビールのお供に最高です。届いてすぐに使うとキビナゴの新鮮さがよくわかりますね。つるつるの丸のままの魚に自分でしっかりと衣をつけるのは大変だと思うのでよく利用しています。(Oさん)



○セイロン紅茶(リーフ) 732

ストレートティーでも濃い紅茶にしてもミルクティーにしても美味しい!子どもは無糖のミルクティーにハマリ、『あのミルクティーちょうだい』っていう程です。(Kさん)



○茨城県産ローズポーク挽肉

・お肉屋さんにも挽いてもらったようなひき肉です。赤身率が高いのでお肉がしっかりして脂っこくありません。そぼろを作っても旨味が違います。お気に入り



りはピーマンの肉詰め。食べごたえがあり、お弁当に入れても冷めても美味しいです。(Oさん)

・サッパリして食べられ胃凭れも一切無しで国産なので安心して食べられます。星は文句なしの5!(Kさん)

○チキンコンソメ

本当に最高です。味もさる事ながら余計な添加物も一切使われておらず安心安全、更に減茶苦茶美味しい。コンソメの風味が物凄く強いです私が良くやるのがこのコンソメで炒飯を作ると高級ピラフの様な味になります。



魚介類を入れれば更に最高評価は文句なしにオール5です。最高に美味しいので、是非皆さんもお試しあれ!(Kさん)

★インターネット注文画面でもクチコミが入力できます。ぜひ皆さんの「おススメ」を共有してください!

インターネット注文画面・登録はこちら→



生協利用へのご協力のおかげ!! あと1品プラス利用が生産者・生協事業を支えています!!

●消費者物価指数は+4.0%上昇、41年ぶりの上げ幅となりました!

総務省が2023年1月20日発表した2022年12月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が104.1となり、前年同月比で4.0%上昇しました。第2次石油危機の影響で物価が上がっていた1981年12月(4.0%)以来、41年ぶりの上昇率となりました。22年通年は生鮮食品を除く総合で102.1となり、前年比2.3%上がっています。



上昇は22年12月まで16カ月連続になり、4.0%という伸び率は消費税の導入時や税率引き上げ時を上回り、日銀の物価上昇目標2%の2倍に達しました。

通年での上昇は19年(0.6%)以来3年ぶり、2%を超えるのは、消費税率を上げた14年(2.6%)を除くと1992年(2.2%)以来。消費増税時を除いた比較で、2022年の上昇率2.3%は1991年(2.9%)以来31年ぶりの高い水準になりました。

生鮮食品を含む総合指数は4.0%上昇。1991年1月(4.0%)以来、31年11カ月ぶりの上昇率となり、生鮮食品とエネルギーを除いた総合指数は3.0%上がり、消費増税時を超えて91年8月(3.0%)以来31年4カ月ぶりの水準となりました。

エネルギーや食料など生活に欠かせない品目で値上がりが続いています。品目別に上昇率を見ると、エネルギー関連が15.2%で全体を押し上げています。11月の13.3%を上回り、15カ月連続で2桁の伸び。都市ガス代は33.3%、電気代は21.3%上がっています。家計へのダメージの拡がり深刻となっています。

生鮮を除く食料の上昇率は7.4%で、76年8月(7.6%)以来46年4カ月ぶりの水準に達しました。食料全体は7.0%、鳥インフルエンザ拡大の影響もあって鶏卵が7.8%上昇し、食用油が33.6%、炭酸飲料は15.9%、弁当や冷凍食品といった調理食品は7.3%伸長し、外食も5.8%と高くなりました。

家庭用耐久財は10.8%上がりました。原材料や輸送価格の高騰でルームエアコン(13.0%)などが値上がりしています。

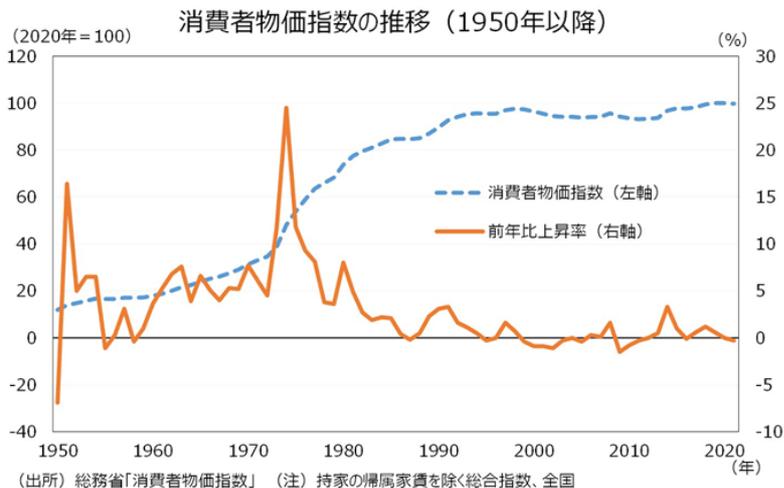
主要国の生鮮食品を含む総合指数は、22年12月の前年同月比の伸び率で日本を上回り、米国は6.5%、ユーロ圏は9.2%、英国は10.5%となりました。今回の世界的な物価上昇でも、海外に比べて日本の上昇率は低水準に留まっているというのが分かります。

(参考文献:日本経済新聞)

●私たちのくらしの見直しが問われる時代へ

振り返れば、日本では、バブル崩壊以降、物価が上がらない状況が続きました。日本の長期的な消費者物価指数の推移を確認すると、戦後の経済復興期やそれに続く高度成長期には、4～5%の年平均上昇率で上昇し、1950年の11.9から1970年には31.3と2倍以上となりました。

2度のオイルショックを経験した1970年代には、1974年に前年比で20%を超える上昇率を記録するなど、年平均上昇率が8%を超える高い物価上昇率を経験することになりました。



大量生産、大量消費が当たり前の時代から、エコロジー、サステイナブル、リサイクルへと生活を変えていく事が問われています。

●生産者も、組合員も苦しむ物流コスト、物価の上昇

生協では組合員さんが商品を注文→発注→納品→セット→お届けという一連の流れがあります。

この数年間、話題となっている物流コストの上昇。輸送費や、働き方改革、燃料費の値上げによる物流便の経費上昇の影響と、ロシアーウクライナの戦争による燃料調達不足、原料調達困難な状況により、様々な食品、モノの値上げは大きく上がりました。

常総生協でも、生産者の物流経費や、生産コストが上がれば、商品価格に反映せざる負えせん。地場の農産品、生鮮品の安定・適正価格を掲げている生協といえども、どんどん上昇していく物価に対して、生産者協力も限界に近い状態になっていきます。

他所で購入しているもので、生協で調達できるのであれば、是非生協へ利用の切り替えを検討してください！

。私たちができる事として、生産者が想いを込めて、真面目に作った、いのち育む食べものを適性の価格でいただく。物流情勢の波に流されない。そのためには、組合員1人ひとりの利用を増やし。組合員が増える事が共同購入の強みであり、生協の原点だと思います。あと1品プラス利用をよろしくお願い致します！

（専務理事 伊藤）

2022年11月度決算

	【実績】	前年比	予算比
I 供給事業			
■ 総供給高	78,938,322	93.1%	103.9%
共同購入供給高	77,852,795	94.6%	106.2%
店舗供給高	1,085,527	43.1%	40.4%
○ 供給剰余	21,571,692	91.5%	105.2%
(G P R)	27.33%		
配達料	1,449,650	#DIV/0!	115.3%
共済受取手数料	270,629	96.4%	97.9%
教育事業収入	21,888	695.7%	#DIV/0!
II その他の事業収入計	1,742,167	614.0%	113.6%
● 事業総剰余金	23,313,859	97.7%	105.8%
人件費小計	14,093,769	102.9%	102.1%
(人件費比率)	17.85%		
物件費小計	11,128,507	103.0%	108.5%
(物件費比率)	14.10%		
○ 販売管理費計	25,222,276	103.0%	104.8%
● 事業剰余	△ 1,908,417	296.8%	94.6%
○ 事業外収益小計	1,844,029	113.0%	124.1%
○ 事業外費用小計	20,386	21.1%	25.5%
● 経常利益	△ 84,774	-9.5%	13.8%
(N E T)	-0.11%		

11月1回～11月5回	実績	前年差	計画差
OCR発行枚数	16,824	△ 578	△ 879
回収枚数	15,174	△ 652	△ 1,112
回収率	90.19%	△ 0.75P	
一人当利用高	¥5,905	△ 35	
利用点数	13.71	△ 0.46	